

### ■ 明電舎が、次世代型ビル・エネルギー管理システム「明電スマート BEMS (Building Energy Management System)」に SL-GMS 採用

米 SL 社の Microsoft .NET をベースにしたダイナミック GUI とカスタム・エディタ技術を組み込み提供

2013年3月12日 プレス・リリースより:

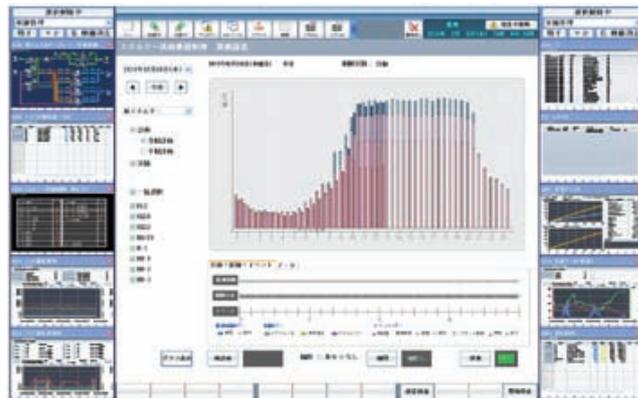
リアルタイム・データのグラフィックな可視化と監視で業界をリードする株式会社 SL ジャパンは、環境エンジニアリングとソリューション技術の提供で115年以上の伝統を誇る株式会社明電舎が開発した、次世代型ビル・エネルギー管理システム「明電スマート BEMS (Building Energy Management System)」に、米 SL 社の SL-GMS Developer for .NET ならびに SL-GMS Custom Editor for .NET 製品が組み込み採用されたことを、発表しました。

明電舎は、水処理、電力、電鉄、道路などの社会インフラを担う企業として、多岐にわたる製品とエンジニアリング、ならびに運用、維持・管理ソリューションを提供しており、これまでも水処理における MEISVY-OPS5000 や MEISVY VS 監視制御システム製品などで、SL-GMS を使用してきました。

電力・エネルギー分野では、太陽光や風力などの再生可能エネルギーを利用した発電システム、エネルギーを有効に利用するためのスマートグリッド技術をはじめ、効率の良い受配電、蓄電システムで安定した電力エネルギーの供給を支えています。そして、次世代型のビル・エネルギー管理システムとして開発された「明電スマート BEMS (Building Energy Management System)」は、中央監視装置による電力や電気・空調設備の監視・制御、解析・見える化などの基本機能に加え、時刻や天候などによって変化する需要予測や、エネルギー供給最適制御によるエネルギー効率化などのスマート機能、計画停電など非常時の事業継続のための BCP (Business Continuity Plan 事業継続計画) 対応機能も搭載しています。

この中枢となる電力、電気設備、空調設備の監視制御とオペレーションの画面と編集機能で、SL-GMS が組み込まれています。

★プレス・リリース全文: [http://www.sl-j.co.jp/newsevents/pressrelease/2013/slj\\_press\\_130312.shtml](http://www.sl-j.co.jp/newsevents/pressrelease/2013/slj_press_130312.shtml)



### SL ジャパン、Microsoft .NET ベースの SL-GMS の最新版で Windows 8 タブレットをサポート Visual Studio 2012 を使った Windows アプリケーション開発に対応

2013年3月28日 プレス・リリースより:

SL ジャパンは、Windows 8 ならびに Microsoft Surface をはじめとする Windows 8 タブレット、そして Visual Studio 2012 に対応した、SL-GMS Developer for .NET と SL-GMS Custom Editor for .NET 製品の新しいバージョン 4.2a をリリースしたことを、発表しました。

SL-GMS Developer ならびに Custom Editor for .NET は、Microsoft .NET Framework における Visual Studio を使ったリアルタイム・アプリケーションの開発を専門とするツールで、極めて対話性の高いコンテンツリッチな GUI/HMI をミリ秒単位のパフォーマンスで提供して運用できるものです。

SL-GMS は、プロセス制御、水処理、エネルギー管理、設備監視などの分野で、世界でリードする DCS/SCADA 製品ならびにソリューションによって使用されて組み込み再販されており、さらに最も Web 運用に強い高度な監視制御システムの実現で、実績を誇っています。

今回の Windows 8 タブレットのサポートで、いつでもどこでも Web で監視のモビリティが一層強化され、また現場フロアではニーズが高いタッチスクリーン・インタフェースを使いつつ、Windows 8 パソコンの生産性を引き続き活用することができます。

★プレス・リリース全文: [http://www.sl-j.co.jp/newsevents/pressrelease/2013/slj\\_press\\_130328.shtml](http://www.sl-j.co.jp/newsevents/pressrelease/2013/slj_press_130328.shtml)



Windows 8 タブレット・デモ・ビデオ  
(0分52秒)

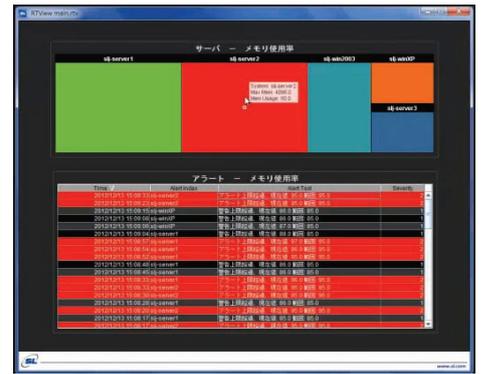
# RTView® によるログデータのリアルタイムな可視化と監視

RTView では、既存のログファイルやログシステムなどによるログデータに、RTView の Log4j, SQL (csv), Agent, Pipe などのデータ接続アダプタを使ってダイレクトに接続し、事後の分析と処理ではなく、リアルタイムにログデータを集約(フィルタリング)して統計表示(平均値などを計算して表示)し、アラートと対応アクションの自動化が可能になります。

また、インメモリ・キャッシュと物理的なデータベース間との透過的な圧縮と展開、タイムスタンプでそのときの監視画面をいつでもプレイバックして見られる高度なヒストリアン機能を持つことができます。

そして、膨大なログデータをアクションが取れるリアルタイムな情報として集約し、時間と深い知識を要するログマイニングから解放します。さらに、異なる種類のログデータを関連付けて一元可視化することも可能になります。

★「ログデータのリアルタイムな可視化と監視」の詳細:  
[http://www.sl-j.co.jp/solutions/solution\\_log.shtml](http://www.sl-j.co.jp/solutions/solution_log.shtml)



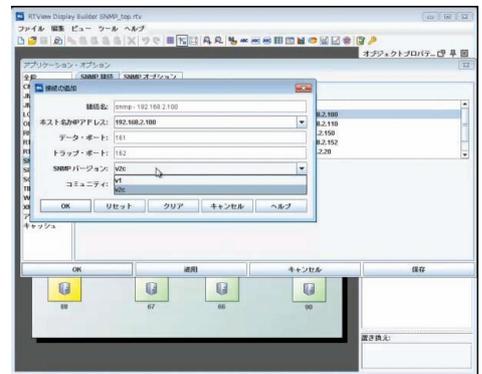
「ログデータのリアルタイムな可視化と監視」の  
デモ・ビデオ(4分51秒)

# RTView® による SNMP データのリアルタイムな可視化と監視

SL 社の RTView では、JMS, SQL (JDBC/ODBC), XML, JMX, WMI などのさまざまな標準的なデータ接続アダプタを用意しており、任意のリアルタイム・データと「直接」接続し、「インメモリ」で高速に集約して表示します。

RTView の「SNMP データ・アダプタ」では、SNMP に対応したアプリケーションやデバイスからのデータをクエリしたり、トラップを受信することができます。サーバやエージェント、アプリケーションの IP アドレスや OID (オブジェクトID) などを選択してトラップ・データを受信し、RTView のキャッシュ機能を使って、受信したトラップの履歴を保持して表示します。

これにより、既存の SNMP 対応デバイスやアプリケーションからのトラップ・データを容易に可視化し、リアルタイムに監視することができます。その監視ダッシュボード画面と部品はもとより、画面上でのデータ集約と分析、アラートと対応アクション、過去の履歴データを任意のデータベースに格納できる高度なヒストリアンは、すべて RTView のビルダーでカスタム設定でき、さらにはそのネットワークやアプリケーションが支えるサービスに関連付けて可視化したり、他のネットワーク監視データと一元可視化することも可能です。



「SNMP デバイスのリアルタイムな可視化と監視」  
のデモ・ビデオ(2分2秒)

## SL-GMS セミナ開催のご案内

「SL-GMS による、比類なく Web 運用に強い監視制御システムとその専用カスタム・エディタの構築技法」セミナー  
～ Windows 8 タブレットによるデモと大手各社ユーザー様による豊富な適用事例を画面とともにご紹介 ～

★2013年6月12日(水) 15:00～17:00 [無料・事前登録制]  
@スタジアムプレイス青山(外苑前駅徒歩2分)

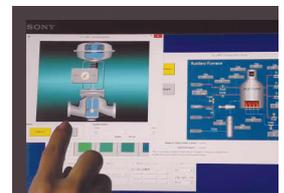
セミナー・サイト: [www.sl-j.co.jp/newsevents/seminar/seminar\\_dotnet.shtml](http://www.sl-j.co.jp/newsevents/seminar/seminar_dotnet.shtml)

電力や製造プラント監視、空港・鉄道などの設備監視、ビル管理(BA)、水処理、製造ライン監視など、早期に Microsoft .NET へ移行して出荷されてきた SL 社の国内ユーザー様の豊富な事例とともに、SL-GMS Developer for .NET と Custom Editor for .NET 製品による監視制御システムのリアルタイム・ダイナミック GUI と専用エディタの構築が、いかに最短の市場投入時間で支援し、膨大な画面開発・保守コストを削減できるかの秘訣を、デモで解説してまいります。

Visual Studio 2012 を使った SL-GMS の Windows フォーム・アプリケーションの開発手順と技法、その Windows フォーム・アプリケーションを Web 運用できる4つの選択技とその技法などを、サンプルを使って具体的にご説明いたします。また、Windows 8 タブレットでのデモもご覧いただけます。

その他、SL-GMS J/Developer (Java) 製品による Web 運用システムの開発についても、合わせてご紹介いたします。

★セミナーのお申し込みは、Newsletter 返信用ファックス、電子メール [seminar@sl-j.co.jp](mailto:seminar@sl-j.co.jp) またはセミナー・サイトから承っております。



Real-Time Visibility

年3回発行 2013年5月24日発行 通巻45号



株式会社 SL ジャパン

〒107-0062 東京都港区南青山3-8-5 アーバンプレム南青山 3階  
Tel. 03-3423-6051 info@sl-j.co.jp [www.sl-j.co.jp](http://www.sl-j.co.jp)

◆記載される会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。  
◆記載内容は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。  
◆記載事項の一部または全部の無断転載を禁じます。